

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」武蔵新城校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		フロアをパーティションで区分しています	児童の特性と支援内容に合わせて個別療育ができる環境設定をしています。
	②	職員の配置数は適切である	○		各職員が児童に適切に関わるようにしています。	今後も法令を遵守した職員配置をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個室ではなくセミオープンな空間において、できる限り本人の特性に配慮を行っています。	安全・安心して支援に取り組める環境であるよう、教室全体で取り組みます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃を欠かさず、心地良い活動環境を心掛けています。	今後も快適に支援に取り組める環境であるよう、教室全体で取り組みます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々のミーティングを実施しています。	業務改善のために全員 PDCA サイクルに参画できるようにしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の結果をもとに会議を開き、保護者の意向を把握しました。	今後も保護者の意向を踏まえて、業務改善に努めて参ります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎月、事業所評価活動に取り組んでいます。	今後も事業所評価活動を継続していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	神奈川県による、第三者評価項目を基に事業所内で月一回、独自の評価活動を継続しています。	今後 第三者による外部評価を検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部巡回講師の研修を受けています。発達支援研究所主催の定例研修も実施しております。	速やかに問題解決することを全職員が心掛けています。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		支援時の様子、発達検査の結果などをふまえてアセスメントをしています。	今後も利用者の課題を客観的に分析した支援計画を作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			法人が定めたアセスメントシートを使っています。

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援時の様子や保護者との振り返りをもとに、支援計画の内容を具体的に設定しています。	個別を中心とした支援計画のため「発達支援(本人支援及び移行支援)」が主となりますが、可能な限り「家族支援」「地域支援」にも触れていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			今後も指導員は支援計画に沿った支援をしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議の場で各指導員から意見を出してもらいます。	各意見を集約して、活動プログラムを立案していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		支援のねらいに対して、中心と、周辺領域に広がりを持つ支援となるよう配慮しています。	今後も現状の発達に応じた活動となるよう配慮と工夫をしていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			今年度は実施していませんでした。ご要望と予定を調整してまいります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前の時間帯でミーティングをしています。	今後もミーティングの習慣を継続していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日のミーティングで情報共有をしています。	ミーティングで全員が発言することで、様々な気付きが出るようにしていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		情報共有すべきことを記録するようにしています。	日々の業務において支援の検証・改善が反映できるよう努めて参ります。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6 か月ごとにモニタリングを行っています。	今後も定期的にモニタリングを行っていきます。	
関係機関や保護者との連携関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			今年度該当ありませんでしたがその場合は児童発達支援管理責任者が参画していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の要望に応えるようにしています。	可能な限り、連携した支援をしていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			今年度該当ありませんでしたがその場合は保護者を通じて、関係機関からのアドバイスを聞いて支援に生かしています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			今年度該当ありませんでしたがその場合は、医療的ケアは保護者同伴で対応していただき、支援する上での注意事項を共有していきます。

関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	今年度該当ありませんでしたがその場合は保護者の要望に応じて、可能な範囲で行います。	可能な限り、情報共有と相互理解を図っています。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	今年度該当ありませんでしたがその場合は保護者の要望に応じて、可能な範囲で行います。	可能な限り、情報共有と相互理解を図っています。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			発達支援研究所と連携を取り、適宜助言を受けられる体制となっています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現状ではありません。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		現状では参加する機会がありません。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回支援後の振り返りをして、保護者との共通理解の場を設けています。	支援後の保護者との振り返りを、大切にしています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングはしていませんが、支援後の振り返りやご要望により別途個別相談で、保護者支援をしています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明するようにしています。	報酬改定のお知らせを該当利用者に配布説明を行いました。今後も丁寧な説明を続けていきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を示しながら内容を説明し、保護者の同意を得ています。	今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、支援計画の作成を行い、保護者に内容説明するとともに同意を得ています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援の振り返りの場で、相談に適切に応じています。	保護者の要望に応えるよう努めています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現状では保護者同士の連携支援はありません
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談・申入れについては迅速に対応する体制を取っており、苦情受付窓口も設置しています。	今後も子どもや保護者からの相談や申入れについては、迅速かつ適切な対応をしています。
③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報は発行していませんが、ブログや教室掲示物で情報発信をしています。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時に「個人情報に関する同意書」を交わして、個人情報の取扱いには十分に注意しています。	今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払うようにします。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		カードなどで視覚化する、事前に電話連絡を入れるなど、個別対応をしています。	今後も子どもや保護者の要望に応じて、個別対応をしていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民を招待するような行事は行っていません。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		毎月1回、訓練を実施しています。	職員は各マニュアルの内容を熟知して事業所の運営に当たります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月1回、訓練を実施しています。	今後も定期的に必要な訓練を実施していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約時に基本情報シートの記入をお願いしています。服薬などのこどもの状況を確認して支援に当たります。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事の提供がありません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集を作成し職員が見られるようにしています。	ヒヤリハットの記録を欠かさないようにしていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回以上、虐待防止・人権擁護の研修をしています。	今後も職員研修の機会を確保していきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現在該当はありませんが、身体拘束の必要がある場合は必ず個別支援計画に記載します。	今後、組織的に決定した事項を保護者に丁寧に説明していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」武蔵新城校

保護者等数（児童数）：10 回収数：4 割合：40 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1			入室して手洗い等があれば習慣になるのかなと思います 隣のスペースと腰高壁で仕切りの為音を使う活動に支障がある	アルコール消毒剤を玄関に用意していますので、どうぞご利用ください。 同時時間の支援の目的と照らし合わせてお互いに調整を図っております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	1			ニーズは日々の相談として伝え話すが、計画に反映されているか見づらい	計画を作成する際、保護者様のご意見・ご相談を丁寧に確認して反映させるよう努めて参ります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2			2	ガイドラインで提示されている選択肢となりえる項目がわからないため、適切な選択かも不明	ガイドラインは教室で閲覧できるようご用意しておりますので、いつでもお声がけください。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	1				

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2	1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3		1		ガイドラインのねらいをみたがありません	ガイドラインは教室で閲覧できるようご用意しておりますので、いつでもお声がけください。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2		1	1	障害の特性か、本人の性格なのか、わからず障害の特性を理解できているか不明	保護者様の悩みに寄り添いご本人の生きやすさについて、一緒に考えて支援をしていきたいと考えております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2	2			限られた時間で伝えるためかみ砕いた理解となるまで話せていない	相談のお時間をご用意いたします。どうぞお申し出ください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1	1		面談はない日々の相談で助言、アイデアはいただけている	面談のお時間をご用意いたします。どうぞお申し出ください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		2	1		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	1		1	窓口の説明はされましたが申入れをしたことがない	必要がございましたら相談していただき、詳しい情報を提供できるよう心掛けてまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3		1		文書の方が分かりやすいとも感じました	ご希望の方には、メール等での振り返りも検討いたします。ご相談下さい。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1	1	1		

	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1			1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2		1	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1		1	2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4				すごく楽しみにしているし来た日は本当に楽しそうです	鋭意努力いたします。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3	1			言葉の種類を引き出してももらえていると思う。計画が分からずいきあたりばったりにも感じる	その時のご様子によって支援の内容を変更することがあります。支援のねらいに沿って柔軟に対応するよう心掛けておりますが、わかりにくい場合があるかもしれません。なるべく丁寧な説明を務めて参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。